

特別活動研究会 会報5号

令和4年度 会員数 159名!

KAWASAKI 特活

学級活動 (1) (2) (3) 児童会活動 クラブ活動 学校行事

川崎市立小学校 特別活動研究会



検索



小教研授業研究会～特別活動～
令和4年7月6日(水) 川崎市立向丘小学校



●向丘小学校の職員の皆さま、授業の準備や会場準備等、大変お世話になりました。
【授業提案】

議題・題材	学級目標	ねらい
「ともだちとなかよく」 学級活動 (2) イ よりよい人間関係の形成 授業者 1年4組 黒岩 沙緒里 教諭	やくそくをもって やるときはやるぞ ともだちにやさしく みんなのえがお いっぱい 4くみ	友達との関わり方について の課題に気付き、いろいろな 友達と仲よくなるためにはど うしたらよいのか話し合い、 自分のめあてをもって実践で きるようにする。
 「6-4の『聴く』がレベルアップしよう」 学級活動 (1) ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 授業者 6年4組 門別 整 教諭	【指導講評】特別活動研究会 副会長 齊野 保史 先生 学級目標に、担任の願いが入っていることで、目指す子どもたちの姿が明確になっていた。学級活動 (2) の授業の流れが適切に行われていた。実態把握を丁寧に行い、子どもたちにどのような実践をさせたいかが大切な見通しとなる。学級全体の課題を「自分事」として捉えるような展開がなされていた。さらに、ロールプレイを体験したり、見たりすることで事後の実践への「意思決定」へとつながる授業であった。	「聴くこと」が成長するために、どのような活動ができるのかを話し合い、決めることができるようにする。
 【指導講評】川崎市総合教育センター カリキュラムセンター 下村 智英 指導主事 教師の適切な支援「出どころ」がカギを握る学級会であった。話し合いが豊かな学級であり、主体的にテンポよく進む場面が多かった。担任が子どもたちにある程度任せて進んでいくことが学級会の基本ではあるが、それと同時に「学年や発達段階に合わせた」支援の声かけが大切である。学級会で合意形成され、決まったことは、必ず実践することを前提とする。全員が翌日からどんな様子になるかをイメージした「教師の出どころ」が支援としてなされるとよい。		

学級活動 (1) の教師の出どころ

学級会では、子どもたちが主体的な進行をしますが、「担任が子どもにある程度任せる」…ことの捉えは、『学習指導要領 解説 特別活動編』78ページをご覧ください。低学年～高学年までの指導のめやすが明記されています。必見です！ちなみに、私自身も、1年生の担任をしても、6年生の担任をしても、学級会の出どころは臨機応変かつ「生き物を育てる」感覚で行うようにしています。